

# 水沢幹線ほか管渠点検業務委託特記仕様書

(北上川上流流域下水道 胆江処理区)

令和7年度

北上川上流流域下水道事務所

# 水 沢 幹 線 ほ か 管 渠 点 検 業 務 委 託 特 記 仕 様 書

## 第 1 適用範囲

本仕様書は、「水沢幹線ほか管渠点検業務委託」に適用する。

本仕様書に記載なき事項は、委託業務共通仕様書を適用する。

## 第 2 業務概要

本業務委託は、下水道管渠などの施設の状態を把握し、事故を未然に防ぐため定期的に巡回点検を実施するものである。

## 第 3 業務内容

### (1) 通常時点検 36 回

幹線管渠部、及びマンホール部は月 3 回（概ね 10 日 1 回）巡回点検を実施し、その都度、監督員及び業務監理員（以下「監督職員等」という。）に流域下水道幹線管渠等巡回点検報告書（以下「巡回点検報告書」という。）を提出するものとする。

### (2) 水門・ゲート部のフェンス等点検 2 回

水門ゲート部の敷地内及びフェンス、圧送部の空気弁、水管橋及びポンプ場は年 2 回（概ね 6 ヶ月に 1 回）の巡回点検を行い、その都度、監督職員等に巡回点検報告書を提出するものとする。

### (3) 河川占用許可標示板の点検 1 回

以下に示す河川占用箇所における、河川占用許可標示板の設置状況を年 1 回点検するものとする。

北上川、天神川、胆沢川

### (4) 施設案内標識 1 回

浄化センター等の施設案内標識について、設置状況を年 1 回点検するものとする。

### (5) マンホール蓋の開閉及び受枠清掃 1 回

以下の箇所について、出水期（7 月～9 月）前にマンホール蓋を開閉し、併せて受枠の清掃を行うものとする。

水沢幹線 M7、公共下水道 No.154-2(江刺幹線)、金ヶ崎幹線 M50

### (6) マンホール段差簡易補修 欠損部補修工（パッチング） 0.2 t

マンホールと舗装に段差等が認められる場合は、簡易補修を実施するものとする。

### (7) 異常時点検

震度 4 以上の地震が発生した場合は、別添「地震直後の管渠施設緊急点検方法について」のとおり自主的に巡回点検を実施した後異常の有無を電話で監督職員等に報告し、報告書は後日提出するものとする。

また、地震以外の災害等については、監督職員等が電話等により受注者に対し巡回点検を指示するものとする。

巡回点検回数が異常事態の発生により年間 36 回を超える場合は、設計変更の対象とするものとする。

(8) 巡回点検方法

巡回点検は、下水道幹線管渠沿いに車両等により道路上及び河川堤防等から目視点検するものであり、点検項目は(10)に示すとおりである。

巡回点検中に異常等を発見した場合、緊急対応が必要な際は直ちに監督職員等に電話等で連絡し、指示を受けるものとする。

交通誘導が必要な場合は、予め道路管理者及び所轄警察署に手続きする必要があるため、事前に監督職員等へその旨報告するものとする。

(9) 巡回点検対象幹線：別添幹線路線図のとおり

水沢幹線	延長	8.09km	
江刺幹線	延長	1.49km	
金ヶ崎幹線	延長	5.31km	
胆沢幹線	延長	4.57km	
羽田幹線	延長	1.18km	(合計 20.6km)

(10) 点検項目

1) 管渠部 (月 3 回)

- ア 路面の陥没の有無
- イ 地表面の沈下の有無
- ウ 管渠埋設個所の近接工事等による損傷の有無
- エ 路面車両運行への支障の有無
- オ 土砂流入有無

2) マンホール部 (月 3 回)

- ア 受枠、蓋及び鍵の損傷の有無
- イ 蓋の磨耗、ガタツキ及び音鳴り等の有無
- ウ マンホール廻りの不等沈下及び路面段差の有無
- エ マンホール周辺の工事等による損傷の有無

3) 水門ゲート部 (年 2 回)

- ア ゲート周りのフェンスおよび鍵の損傷の有無
- イ ゲート周りの近接工事等による損傷の有無
- ウ ゲート室管理マンホール受枠、蓋及び鍵の損傷の有無

4) 圧送管部 (年 2 回)

- ア 空気弁のマンホール受枠、蓋及び鍵の損傷の有無
- イ 空気弁の異常作動の有無
- ウ 空気弁の損傷の有無
- エ 空気弁からの漏水の有無

5) 水管橋部 (年 2 回)

- ア 橋座接合部からの漏水の有無
  - イ 橋台及び橋脚部の損傷の有無
  - ウ 水管橋塗装の損傷の有無
  - エ 橋梁添架支持材の損傷の有無
- 6) ポンプ場 (年2回)
- ア 建物及び屋根の異常の有無
  - イ 建物周りのフェンス及びかぎの損傷の有無
  - ウ 基礎や地表面の沈下の有無
  - エ 他の施設による異常の有無
- 7) 河川占用許可標示板 (年1回)
- ア 標識柱の異常の有無
  - イ 標示板の異常の有無
  - ウ 標示板固定金具の異常の有無
- 8) 施設案内標識 (年1回)
- ア 標識柱の異常の有無
  - イ 標示板の異常の有無
  - ウ 標識固定金具の異常の有無
- (11) 施設の修繕等
- 点検の結果判明した施設管理上支障となる不具合により、補修が必要と認められる場合は、監督員等は受注者と協議のうえ補修を指示するものとする。受注者は、すみやかに補修を実施し、後日、補修前後の状況について報告書にとりまとめ提出するものとする。なお、この指示による補修は設計変更の対象とする。

#### 第4 業務計画書

- (1) 受注者は、契約締結後速やかに業務計画書を作成し、監督職員等に提出し承諾を得なければならない。
- (2) 監督職員等が指示した事項については、受注者はさらに詳細な業務計画に係る資料を提出しなければならない。
- (3) 業務計画書には、契約図書に基づき下記事項を記載するものとする。
  - 1) 業務概要
  - 2) 業務工程表
  - 3) 業務体制及び業務組織表
  - 4) 安全管理
  - 5) 業務内容及び手順
  - 6) 緊急時の体制及び対応
  - 7) その他

## 第5 流域下水道幹線管渠等巡回点検報告書

### (1) 巡回点検報告書

別紙様式のとおりとする。巡回点検報告書(2)(3)については、全マンホール間ごとに判定することを基本とするが、異常箇所が無い場合は、省略することが出来る。報告書のサイズはA4版とする。

### (2) 写真管理

異常箇所、及びマンホール等状況を点検毎提出する。なお、マンホール状況写真は、年36回の巡回点検で全マンホールを2巡するよう計画し撮影すること。

#### 1) 写真の大きさ

サービスサイズとし、A4版の写真帳にまとめること。

#### 2) デジタル写真

デジタル写真とし、プリントした際に日付が出力されるようにカメラを設定すること。

#### 3) デジタル写真条件

ア) 有効画素数100万画素程度

イ) 拡張子JPG

ウ) 印刷は3年程度に顕著な劣化が生じないこと。

エ) 業務完了後、電子媒体(CD-R、DVD-Rなど)にまとめ提出すること。

(点検日、位置が分かるようにすること)

#### 4) 撮影要領

ア) 通行車両や歩行者、自転車等及び点検者の安全を確保して撮影すること。

イ) 撮影対象の近くにバリケード又はカラーコーンなどを置き周囲に注意喚起すると共に、点検者の安全を確保のこと。ただし、撮影対象を隠さないよう注意すること。

ウ) 点検箇所の全体の分かる「全景」と、点検対象の状態がはっきり判読できる「近景」とを区別して撮影すること。

## 第6 マンホール段差簡易補修

### (1) 補修必要箇所の状況報告書

管渠点検を実施した結果、段差補修の必要が認められる場合には、その状況と数量等が判断出来る資料を添えて、巡回点検報告書(8)にて報告するものとする。

### (2) 段差補修の実施

上記(1)で報告を行い、監督職員等の指示を受けて、段差補修を実施するものとする。また、道路使用許可及び交通誘導の必要を事前に調査し、受注者が中心となり、必要な手続きを行うものとする。

緊急に処置が必要となった場合は、電話等で監督職員等に連絡をし、指示を受けてから補修を実施すること。後日、補修前と補修後の状況を報告書にまとめて提出

するものとする。

(3) 段差補修実績報告書の提出

上記(2)で実施した補修実績を毎月1回、巡回点検報告書(9)にて報告するものとする。

段差補修実績報告書の結果により、当初想定数量と乖離が生じた場合には、設計変更の対象とするものとする。

## 第7 幹線草刈

本業務委託には、幹線草刈業務を含み、対象箇所の草刈を年2回実施するものとする。

また、刈草については、胆沢地区衛生センターにて適正に処分するものとする。

なお、実績刈草所分量については、設計変更の対象とするものとする。

(1) 幹線草刈箇所

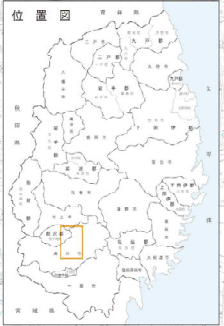
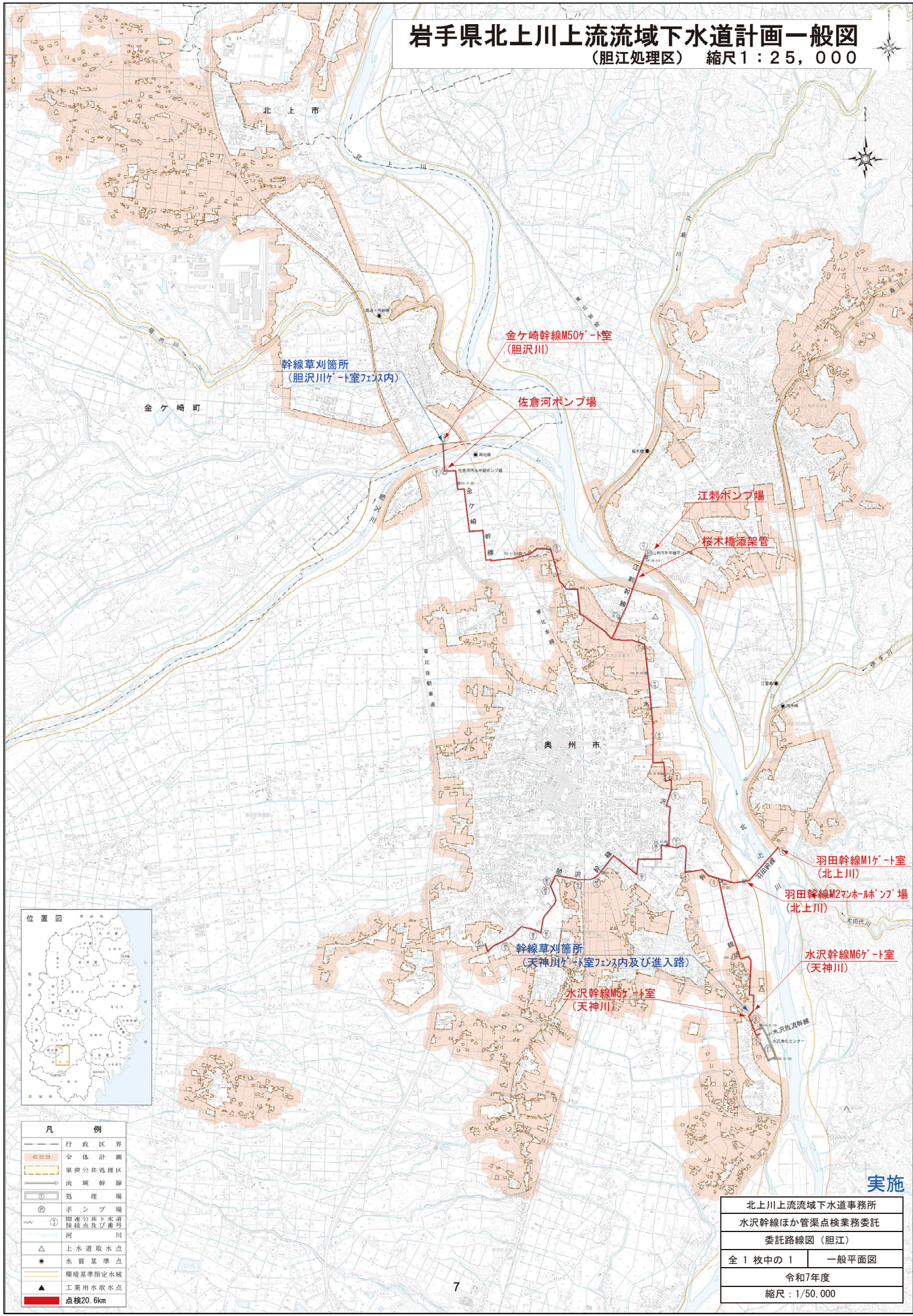
- 1) 天神川右岸ゲート室及び進入路(水沢幹線 M5)
- 2) 天神川左岸ゲート室(水沢幹線 M6)
- 3) 胆沢川左岸ゲート室(金ヶ崎幹線 M50)

## 第8 交通誘導警備員

本業務では、舗装補修に係る交通誘導警備を下表のとおり計上しているが、現場状況に伴い員数に増減が生じた場合は、監督員等と協議するものとし、設計変更の対象とする。

配置場所	総配置員数	昼夜別	交替要員の有無
路線名： その他路線	検定合格者：0名 その他：2名	昼	無

# 岩手県北上川上流流域下水道計画一般図 (胆江処理区) 縮尺1:25,000



凡 例	
—	行政区界
—	全体計画
—	単独公共処理区
—	流域幹線
①	処理場
②	ポンプ場
③	関連公共下水道接続点及び番号
—	河川
△	上水道取水点
●	水質基準点
—	環境基準指定水域
▲	工業用水取水点
■	点検20.6km

北上川上流流域下水道事務所	
水沢幹線ほか管渠点検業務委託	
委託路線図(胆江)	
全1枚中の1	一般平面図
令和7年度	
縮尺: 1/50,000	

実施

# 胆江処理区：河川占用許可標示板位置図



【胆沢川左岸】

工作物の新築許可標識	
河川名	一般河川 北上川水系 胆沢川
許可年月日	平成23年9月1日
工事の名称	下水道管 管長36.500m、セマン1.5径×2.000mm
工作物の構造又は能力	住上内径1,350mm
占有期間	平成23年9月4日から平成33年9月3日まで
施工者	岩手県下水道事業所 下水道課
許可を住居	胆沢川左岸 胆沢川沿道内丸10番1号
交付した者	胆沢川下水道管理者 岩手県知事
河川管理者	胆沢川流域下水道課

【北上川左岸】

土地占用許可標示板	
占用位置	左岸 奥州市江刺区兼岩子渡橋185番1地先 右岸 奥州市水沢区佐倉字中谷配1番地先
許可年月日	平成23年9月1日
許可番号	国東整岩河占 第171号
占用期間	平成23年9月4日～平成33年9月3日
占用目的	下水道管橋梁添築
占有面積	529.5㎡
許居氏名	岩手県

【胆沢川右岸】

工作物の新築許可標識	
河川名	一般河川 北上川水系 胆沢川
許可年月日	平成23年9月1日
工事の名称	下水道管 管長36.500m、セマン1.5径×2.000mm
工作物の構造又は能力	住上内径1,350mm
占有期間	平成23年9月4日から平成33年9月3日まで
施工者	胆沢川流域下水道事業所 下水道課
許可を住居	胆沢川右岸 胆沢川沿道内丸10番1号
交付した者	胆沢川下水道管理者 岩手県知事
河川管理者	胆沢川流域下水道課

【北上川左岸】

河川占用許可標示板	
占用目的	北上川流域下水道事業に伴う河川沿道内丸10番1号地先 (下水道埋設)
占有期間	平成23年9月4日～平成33年9月3日まで
占有面積	707.49㎡
占有者	胆沢川流域下水道事業所 〒982-8502 奥州市水沢区佐倉字中谷配1番地先
河川管理者	国土交通省東北地方整備局 河川管理課 奥州市水沢区緑野字中谷配1番地先

【北上川右岸】

河川占用許可標示板	
占有目的	北上川流域下水道事業に伴う河川沿道内丸10番1号地先 (下水道埋設)
占有期間	平成23年9月4日～平成33年9月3日まで
占有面積	707.49㎡
占有者	胆沢川流域下水道事業所 〒982-8502 奥州市水沢区佐倉字中谷配1番地先
河川管理者	国土交通省東北地方整備局 河川管理課 奥州市水沢区緑野字中谷配1番地先

【天神川左岸】

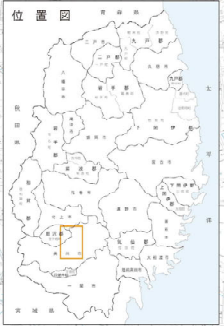
工作物の占用許可標識	
河川名	一般河川 北上川水系 天神川
許可年月日	平成31年9月19日
占有許可番号	岩手県河川管理課 広土第56-55号
工事の名称	下水道管 管長17.43m(二兼管) 内径ヒューム管内径1,350mm
工作物の構造又は能力	最新ヒューム管内径1,200mm
占有期間	平成31年4月1日から平成41年3月31日まで
施工者	北上川流域下水道事業所 河川管理課
許可を住居	胆沢川流域下水道事業所 河川管理課
交付した者	胆沢川流域下水道管理者 岩手県知事
河川管理者	胆沢川流域下水道課

【天神川右岸】

工作物の占用許可標識	
河川名	一般河川 北上川水系 天神川
許可年月日	平成31年9月19日
占有許可番号	岩手県河川管理課 広土第56-55号
工事の名称	下水道管 管長17.43m(二兼管) 内径ヒューム管内径1,350mm
工作物の構造又は能力	最新ヒューム管内径1,200mm
占有期間	平成31年4月1日から平成41年3月31日まで
施工者	北上川流域下水道事業所 河川管理課
許可を住居	胆沢川流域下水道事業所 河川管理課
交付した者	胆沢川流域下水道管理者 岩手県知事
河川管理者	胆沢川流域下水道課

【放流渠】

河川占用許可標示板	
許可年月日	令和2年2月18日
許可番号	国東整岩河占 第263号
占有目的	放流渠埋設工事(放流渠埋設)
占有面積	4,038.03㎡
許居氏名	岩手県知事
河川管理者	建設省東北地方建設局長 河川管理課 奥州市水沢区緑野字中谷配1番地先

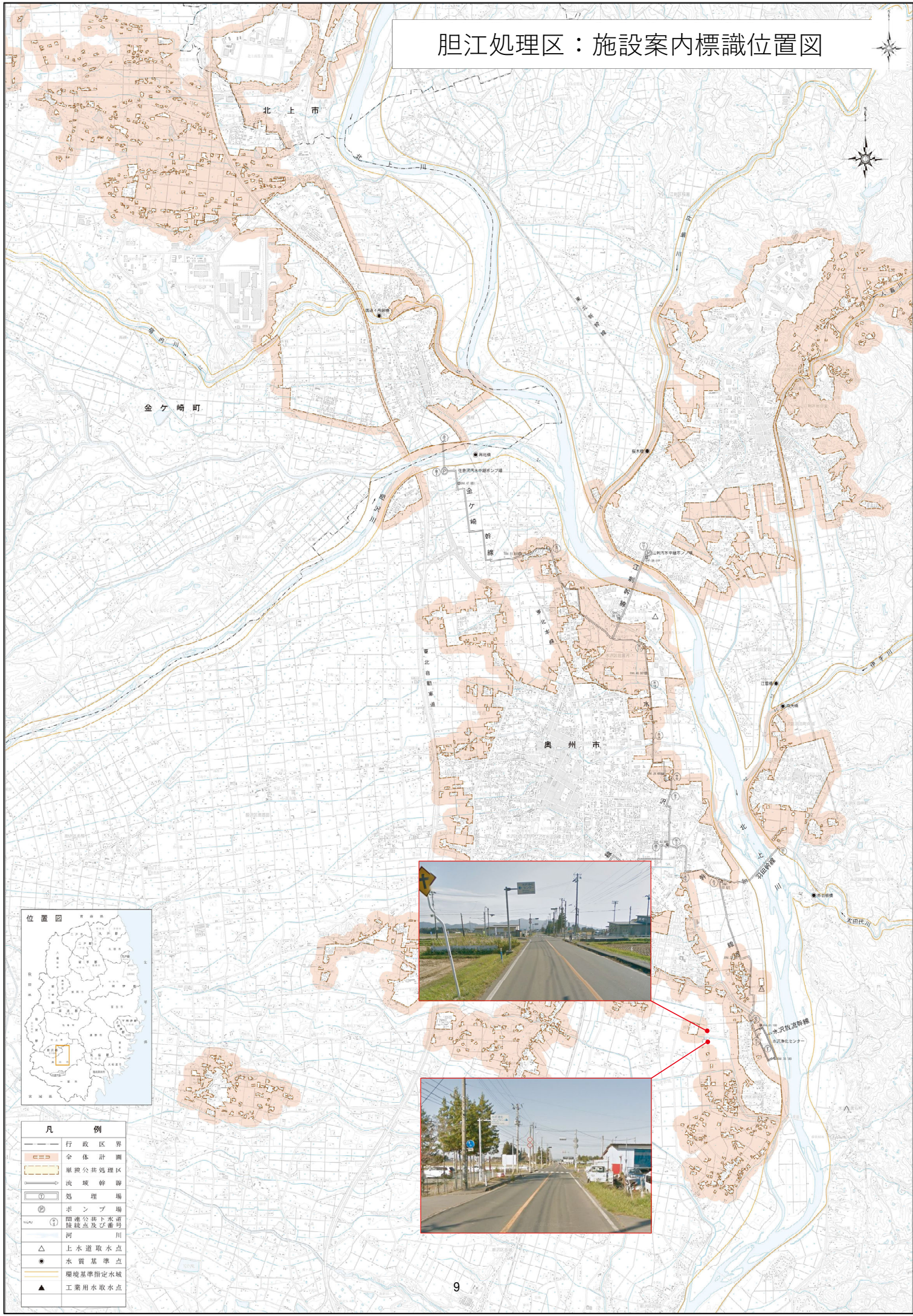


凡例	
—	行政区界
—	全体計画
—	県営公共施設区
—	流域幹線
—	処理場
①	ポンプ場
②	関連公共下水道接続点及び番号
—	河川
△	上水道取水点
●	水質基準点
—	環境基準指定水域
▲	工業用水取水点

※本図面は河川占用許可標示板の位置を示すものであり、写真は最新のものではありません。



# 胆江処理区：施設案内標識位置図



凡例	
—	行政区界
□	全体計画
□	単独公共処理区
□	流域幹線
①	処理場
②	ポンプ場
③	関連公共下水道接続点及び番号
△	上水道取水点
●	水質基準点
—	環境基準指定水域
▲	工業用水取水点

## 地震直後の管渠施設緊急点検方法について

### 1. 緊急点検の目的

管渠施設は延長・人孔数とも膨大であることから、地震直後の点検箇所について優先度を定め、迅速に施設状況確認及び被害状況把握をするとともに、応急措置（舗装補修、バリケード設置など）を実施することで、二次災害を未然に防ぐことを目的とするものである。

### 2. 緊急点検の優先順位及び点検範囲

- ① 第1次緊急点検（緊急輸送道路・特殊構造部分・その他被害を受けやすいと推定される部分）
- ② 第2次緊急点検（その他の全路線）

### 3. 点検開始及び点検結果の報告

（点検開始）

- ① 地震発生後直ちに自主的に点検を開始すること。
- ② 夜間に地震が発生した場合は、第1次緊急点検のみとし、第2次緊急点検は翌日の日中に実施すること。

	昼間	夜間
震度4	第1次	第1次
震度5弱以上	第1次 第2次	第1次 (第2次は翌日)

（報告）

- ① 第1次緊急点検終了時、第2次緊急点検終了時に、その都度、監督職員（業務監理員）に口頭で報告し、その後速やかに別紙”緊急点検表”をFAXすること。

### 4. 震度別緊急点検範囲

- ① 震度4：第1次緊急点検
- ② 震度5弱以上：第1次緊急点検及び第2次緊急点検

### 5. 緊急点検時の点検内容及び留意点

- ① 特殊構造部分（水管橋、添架管）を点検する際は、双眼鏡等を使用し、漏水、管渠のズレ等を点検する。
- ② マンホール周囲の舗装等の沈下の有無を点検する。
- ③ 上記沈下が確認された場合はマンホール蓋を開けて汚水が流れているか点検する。（人孔内部には絶対に入らないこと。）
- ④ マンホールから汚水が流出していないか点検する。
- ⑤ 震度観測点毎に別紙”第1次緊急点検の管渠施設点検箇所表”に従って点検する。

## 6. その他

- ① 緊急輸送道路とは、岩手県地域防災計画で指定された緊急輸送道路  
… 別表参照
- ② 特殊構造部分とは、水管橋、橋梁添架管 … 別表参照
- ③ その他被害を受けやすいと推定される部分 … 別表参照

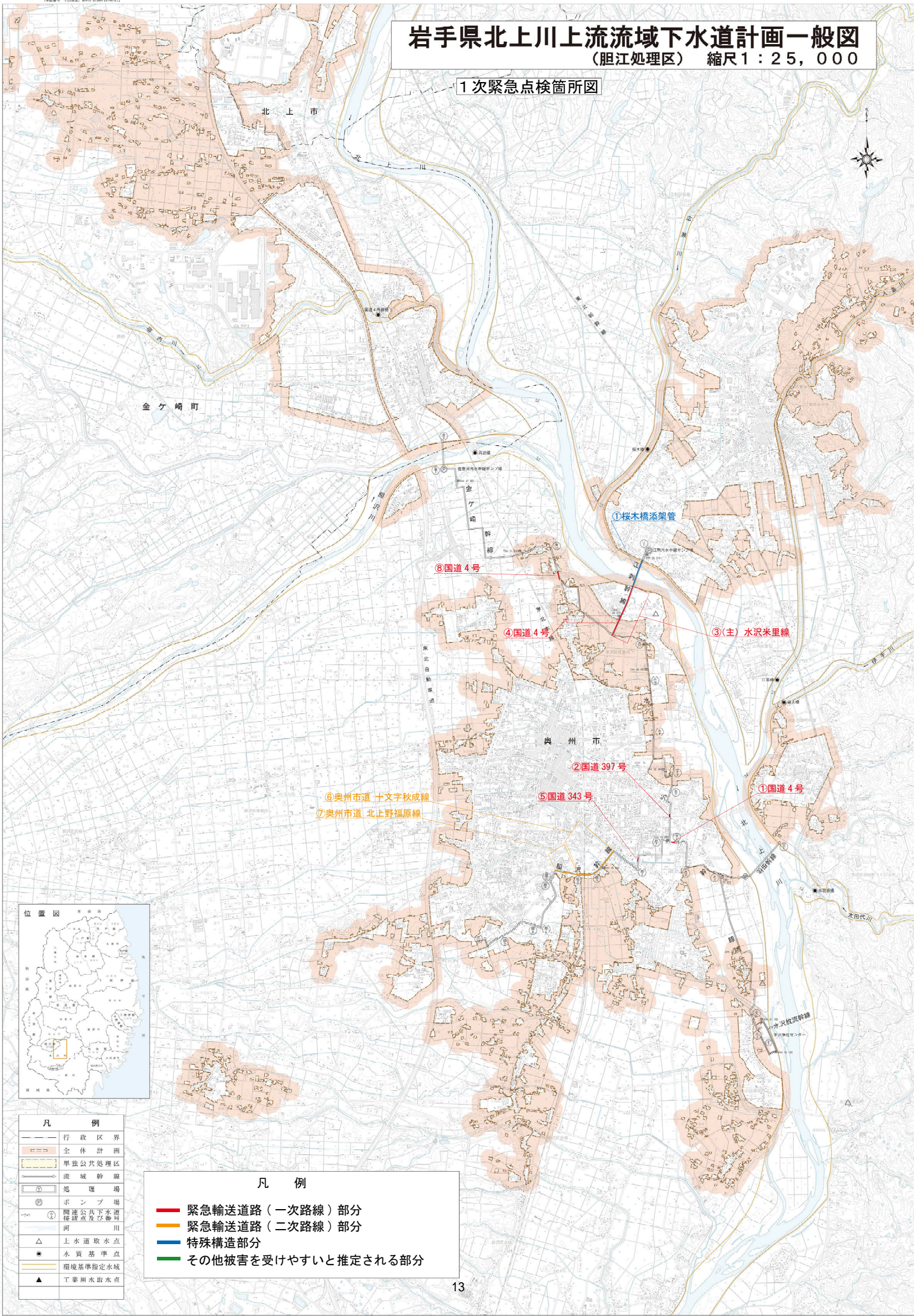
### 第1次緊急点検の管渠施設点検箇所表

処理区	震度観測点	幹線名	No.	1次緊急点検箇所	路線名	種別
【胆江処理区】	・奥州市大鐘町 ・奥州市佐倉河	水沢幹線	②	M36～M37間	国道397号	1次
			①	M33～M34間	国道4号	1次
	江刺幹線	③	(水)M78～桜木橋添架管	(主)水沢米里線	1次	
		④	M3～M4、M11～M12間	国道4号	1次	
		①	桜木橋添架管 <sup>(注1)</sup>	特殊構造部	特殊	
	胆沢幹線	⑤	M11～M12間	国道343号	1次	
		⑥	M18～M27間	〈市〉十文字秋成線	2次	
		⑦	M27～M31間	〈市〉北上野福原線	2次	
	金ヶ崎幹線	⑧	M15～M17間	国道4号	1次	
	・奥州市江刺	江刺幹線	①	桜木橋添架管 <sup>(注1)</sup>	特殊構造部	特殊
	・奥州市胆沢			(該当箇所なし)		—
・金ヶ崎町西根			(該当箇所なし)		—	

注1. 桜木橋添架管は、奥州市(旧水沢市)と奥州市(旧江刺市)に跨っている特殊構造部であり、その重要性を鑑み奥州市大鐘町、奥州市佐倉河及び奥州市江刺のいずれか一方でも対象震度が確認された場合に点検する。

# 岩手県北上川上流流域下水道計画一般図 (胆江処理区) 縮尺1:25,000

1次緊急点検箇所図



凡 例	
	行政区界
	全体計画
	単独公共処理区
	流域幹線
	処理場
	ポンプ場
	調整池
	河川
	上水道取水点
	水質基準点
	環境基準指定水域
	工業用水取水点

凡 例	
	緊急輸送道路（一次路線）部分
	緊急輸送道路（二次路線）部分
	特殊構造部分
	その他被害を受けやすいと推定される部分

## 緊急点検表(地震)管渠施設

対応内容		地震直後の管渠施設の緊急点検					胆江処理区		
実施日	(1次点検)令和 年 月 日( )			(2次点検)令和 年 月 日( )					
震度観測点	幹線名	No.	1次緊急点検箇所	路線名	点検時間		異常の有無		異常内容・処理内容
					開始	終了			
・奥州市大鐘町 ・奥州市佐倉河	水沢幹線	②	M36～M37間	国道397号	:	:	有	無	
		①	M33～M34間	国道4号	:	:	有	無	
	江刺幹線	③	(水)M78～桜木橋添架管	(主)水沢米里線	:	:	有	無	
		④	M3～M4、M11～M12間	国道4号	:	:	有	無	
	胆沢幹線	①	桜木橋添架管	特殊構造部	:	:	有	無	
		⑤	M11～M12間	国道343号	:	:	有	無	
		⑥	M18～M27間	〈市〉十文字秋成線	:	:	有	無	
		⑦	M27～M31間	〈市〉北上野福原線	:	:	有	無	
金ヶ崎幹線	⑧	M15～M17間	国道4号	:	:	有	無		
・奥州市江刺	江刺幹線	①	桜木橋添架管	特殊構造部	:	:	有	無	
・奥州市胆沢			(該当箇所なし)		:	:	有	無	
・金ヶ崎町西根			(該当箇所なし)		:	:	有	無	

震度観測点	幹線名	No.	2次緊急点検箇所	路線名	点検時間		異常の有無		異常内容・処理内容
					開始	終了			
					:	:	有	無	
					:	:	有	無	
					:	:	有	無	
					:	:	有	無	
					:	:	有	無	
					:	:	有	無	
					:	:	有	無	
					:	:	有	無	
					:	:	有	無	
					:	:	有	無	

※2次緊急点検を行った際には、上記に手入力すること。

流域下水道幹線管渠等巡回点検報告書 (1)

回 覧	北上川上流流域下水道事務所				岩手県下水道公社				受注者：							
	総括監督員		主任監督員		監督員		業務監理員				主任技術者		担当技術員			
令和 年 月 日 曜日		第 回 目		天 候		走行距離 Km		時刻	時 分	幹線名	幹線	箇所				
巡回点検の種類		通常	夜間	異常時	巡回点検重点項目				状 況							
巡回点検経路		会 社						原 因								
		( 時 分)		( 時 分)		( 時 分)		( 時 分)		処 置						
								対 策								
								時 刻	時 分	幹線名	幹線	箇所				
								状 況								
								原 因								
								処 置								
								対 策								
								時 刻	時 分	幹線名	幹線	箇所				
管内ルート略図		胆江処理区										状 況				
													原 因			
													処 置			
													特記事項			





流域下水道幹線管渠等巡回点検報告書 (3)

処理区名	胆江処理区	巡回点検年月日	令和 年 月 日 曜日	受注者		主任技術者		担当技術員								
幹線名	マンホール		具 体 的 な 状 況											確認日	備考	
	ナンバー	規 格		蓋			受 枠			路 面						
		形状	寸法	ガタツキ	摩耗	変形	ガタツキ	損傷	変形	損傷	コンクリート損傷	段 差				

※ガタツキによる異音のランクは、A/B/Cの三段階で表示、段差の欄の右マスの数値の単位はmmとする。

流域下水道幹線管渠等巡回点検報告書 (4)

処理区名	胆江処理区		巡回点検 年月日		令和 年 月 日 曜日		受注者		主任技術者		担当技術員		
幹線名	水門ゲート部			具 体 的 な 状 況								確 認 日	備 考
	規 格			水 門 ゲ ー ト 廻 り の 状 況									
	ゲート マンホール No.	形 状	寸 法	ゲート廻りの フェンス及び鍵 の損傷の有無		ゲート廻りの近 接工事等による 損傷の有無		ゲート室管理マ ンホール受枠、 蓋及び鍵の損傷 の有無		その他			
水沢幹線	M 5												天神川右岸ゲート
水沢幹線	M 6												天神川左岸ゲート
金ヶ崎幹線	M 50												胆沢川左岸ゲート

流域下水道幹線管渠等巡回点検報告書 (5)

処理区名	胆江処理区	巡回点検 年月日		令和 年 月 日 曜日				受注者						主任技術者		担当技術員	
幹線名	圧送管部			具 体 的 な 状 況									確 認 日	備 考			
	管渠構造			路 面													
	マンホールNo. ～ マンホールNo.	形 状	内径 寸法	空気弁のマン ホール受枠、蓋 及び鍵の損傷の 有無	空気弁の異常 作動の有無	空気弁の損傷 の有無	空気弁からの 漏水の有無	圧送管末端部 の腐食の有無									
	～																
	～																
	～																
	～																
	～																
	～																
	～																
	～																
	～																
	～																
	～																
	～																
	～																
	～																
	～																
	～																
	～																
	～																
	～																
	～																
	～																
	～																

流域下水道幹線管渠等巡回点検報告書 (6)

処理区名	胆江処理区	巡回点検 年月日	令和 年 月 日 曜日				受注者							主任技術者	担当技術員					
			水管橋部																	
幹線名	水管橋部			具体的な状況												確認日	備考			
	水管橋部の 名称	管渠構造		水管橋部の損傷の有無																
		形状	内径 寸法	橋座接合部から の漏水の有無	橋座及び橋脚部 の損傷の有無	水管橋塗装の 損傷の有無	橋梁添架支持材 の損傷の有無	その他												

流域下水道幹線管渠等巡回点検報告書 (7)

処理区名	胆江処理区	巡回点検 年月日	令和 年 月 日 曜日		受注者					主任技術者	担当技術員	
ポンプ場等施設		具 体 的 な 状 況						確 認 日	備 考			
施 設 名 称		建物及び屋根の異 常の有無		建物周りのフェンス及 び鍵の損傷の有無		基礎や地表面の 沈下の有無		他の施設による 異常の有無				

流域下水道幹線管渠等巡回点検報告書 (8)

処理区名	胆江処理区	巡回点検 年月日	令和 年 月 日 曜日					受注者					主任技術者	担当技術員	
幹線名	マンホールNo.	段差の調査状況						予定数量等					添付資料		
		横断方向	縦断方向	最大厚さ	平均厚さ	面積	容積	加熱合材重量	常温合材重量	瀝青材	交通誘導員	予定年月日	実測図面	状況写真	

流域下水道幹線管渠等巡回点検報告書 (9)

( 月分)

処理区名	胆江処理区	報告年月日	令和 年 月 日 曜日			受注者							主任技術者		担当技術員	
幹線名	マンホールNo.	段差補修実績状況											添付資料			
		横断方向	縦断方向	最大厚さ	平均厚さ	面積	容積	加熱合材重量	常温合材重量	瀝青材	交通誘導員	実施年月日	実測図面	状況写真		

流域下水道幹線管渠等巡回点検報告書 (10)

処 理 区 名	胆江処理区	巡回点検 年月日	令和 年 月 日 曜日		受注者				主任技術者		担当技術員	
河川占用許可標示板		具 体 的 な 状 況						確 認 日		備 考		
施 設 名 称		標識柱の異常の 有無		標示板の異常の 有無		標示板固定金具の 異常の有無						その他



